

白糠町 功労者合祀式

「太陽の手」に合祀させていただき、
末永く讃えらるるとともに、
将来にわたって感謝の意を表す。

令和2年8月8日、2011年（平成23年）から2020年（令和2年）7月1までに逝去された功労者を、開拓功労者顕彰碑「太陽の手」に合祀する「白糠町功労者合祀式」が坂の丘公園で行われました。式には遺族をはじめ、関係者85人が参列し、冥福を祈りました。

式では、合祀者153人の名前が奉読された後、棚野町長が合祀者名簿を奉納。全員で黙とうがささげられました。棚野町長は「本年は町制施行70周年という記念の年。この間、変わりゆく時代背景の中で、亡き功労者の皆さま、そして町民皆さまのまちづくりにかける情熱と努力により、今日の白糠町を築くことができた。本日、合祀式を迎えたことを契機に、新たな気持ちで、ふるさと白糠を今一度、足元から見つめなおし、そして先人の遺志を心として、町民と行政が一体となったまちづくりを進めていきたい」と式辞を述べました。

棚野町長と富田議長による献花に続いて、参列者全員が順次献花しました。

遺族を代表して、廣谷スマ子さんが「先ほど、献花の際に『このように立派な式をあげてもらい良かったね』と、報告させてもらいました。白糠町への感謝の思いを一生忘れることなく、微力ですが、町の振興発展のため精いっぱい頑張りたい」と謝辞を述べました。

きた。本日、合祀式を迎えたことを契機に、新たな気持ちで、ふるさと白糠を今一度、足元から見つめなおし、そして先人の遺志を心として、町民と行政が一体となったまちづくりを進めていきたい」と式辞を述べました。

棚野町長と富田議長による献花に続いて、参列者全員が順次献花しました。

遺族を代表して、廣谷スマ子さんが「先ほど、献花の際に『このように立派な式をあげてもらい良かったね』と、報告させてもらいました。白糠町への感謝の思いを一生忘れることなく、微力ですが、町の振興発展のため精いっぱい頑張りたい」と謝辞を述べました。



- ①合祀者153人の名前が読み上げられました。
- ②棚野町長が合祀者名簿を「太陽の手」に奉納。
- ③黙とうをささげる参列者
- ④棚野町長式辞
- ⑤棚野町長と富田議長による献花
- ⑥・⑦参列者による献花
- ⑧遺族を代表し、謝辞を述べる廣谷スマ子さん。
- ⑨開拓功労者顕彰碑「太陽の手」に合祀。